

萩市議会だより



Hagi City Council PR Magazine

vol.81 2026

6月定例会
一般質問はこちら



物価高騰対策支援さらに充実

予算決算委員会には、追加された補正予算を含んだ2議案が付託され、福祉施設や民間保育所等への物価高騰対策事業や観光課題の解決に向け、官民が連携して観光モデルを創造する事業などに対し質疑を行いました。

本会議では、2議案とも全員異議なく原案のとおり可決しました。

エネルギー・飼料価格高騰へ支援を実施

〈新規〉畜産用飼料価格高騰対策事業

問 支援する単価の算出根拠はどうなっていますか。

答 飼料価格は令和2年と比較して、約50%上昇していることから、そのうち約10%を市が支援します。

家畜の種類によって飼料代が違うため、単価に違いが出ています。

〈新規〉エネルギー価格・物価高騰対策事業

問 この事業で、農業が対象になっていない理由は何ですか。

答 別途1月補正で農業への支援を実施していることから、今回は対象にしていません。

問 追加上程された補正予算は、国の補正予

算を活用した事業ですが、財源の多くを一般財源で賄っている理由は何ですか。

答 今回の物価高騰対応臨時交付金は、国が総額を決め交付され、支援事業等は各自自治体で検討・実施することになっていることから、市の判断で事業費の上乗せ支援をしています。



福祉施設や民間保育所等へも支援

福祉施設食材価格高騰対策事業

問 支援金の根拠は何ですか。

答 県が民間福祉施設に支援する額と同額で支援金を算出しています。

問 食材費の上昇率はどれくらいですか。

答 上昇率は把握していませんが、昨年度の実績との差額を支給します。

〈新規〉高齢者施設大規模修繕等支援事業

問 この事業費は、国からの内示が事業主体にあったことから、市を通じて事業者へ交付されるのですか。

答 その通りです。

問 事業者が国へ申請するにあたって、市は関与していますか。

答 県からの照会に基づき、市から事業のメニューを各事業者へ情報提供をし、出てきた要望を県を通じて国へ申請して採択を受けました。

民間保育所等給食費物価高騰対策支援事業

問 なぜ令和3年度の食材費を基準にしているのですか。

答 県の基準と合わせています。

問 支援額は、どの程度ですか。

答 令和3年度からの上昇実績等を踏まえ、1人当たりの支援額を600円としています。

問 ほかに民間保育園がいくつかありますが、なぜこの2園だけが対象なのですか。

答 民間保育園で、主食費の保護者負担のある認定こども園、2園に補助するものです。



観光産業の活性化につなげることができるか

萩観光モデル創造事業は、市が掲げる構想や戦略の実現に向けて、官民が連携し、市の抱える観光課題を解決するための研究員を募集、また、観光モデルを創出する研究プロジェクトを実施するものです。

問 財源が企業版ふるさと納税になっていますが、寄附をされる企業は市が抱える課題を理解し、委託先もわかったうえで寄附をしているのですか。

答 市から事業内容について説明し、ふるさと納税を頂く企業側から理解をしてもらいました。

問 予定している委託先には、どのような実績がありますか。

答 全国で50を超える実績があります。
市としては、広島県で取り組まれた共同研究事業を参考にしています。

問 研究員を募集することになっていますが、どのような形で行いますか。

答 研究員は10名程度を想定し、対象は市内外を問わず、観光課題の解決に取り組んでいる事業者、観光協会や商工会議所の会員などを予定しています。

問 補正予算で計上しなければいけない緊急性があったのですか。

答 企業版ふるさと納税で予算が確保できたことが、大きな要因になっています。

問 募集する研究員は、人材育成の意味を含めて、地元人材を募集してはどうですか。

答 研究員については、全国募集を予定していますが、今後も観光施策と一緒に展開したいと考えていることから、選考に関して地元人材を意識しています。

問 この事業は、市から提案したものでか、それとも委託予定先から提案されたものでか。

答 広島県の事例を参考に、市から提案しています。

問 この事業で、市民にどのようなメリットがありますか。

答 この事業で観光が活性化されると、市民の皆様にメリットがあると思っています。



討論

議案第40号 令和8年度一般会計補正予算(第2号)

賛成 随意契約は説明責任を果たし透明性確保を

萩観光モデル創造事業は人材育成や地域活性化につながる可能性を評価し賛成しますが、一方で契約の透明性や説明責任の徹底、市民採用の拡大を強く求め、今後も事業効果と費用対効果を議会として注視します。

岡崎 隆志 議員

賛成 公平な手続きと市民参加を期待して

萩観光モデル創造事業は、委託先の選定、補正予算の必要性、参加者募集の公平性を確認した上で賛成しました。今後は市民・行政・事業者が協力し、地域の誇りを大切にした観光づくりにつながることを期待します。

山口 泉 議員

賛成 事業拡大や新たなチャレンジには多様な財源確保を

萩観光モデル創造事業(新規・債務負担行為)は、市民生活への事業効果と、財源となる企業版ふるさと納税の寄附法人名が非公表であることとその理由については、今後の確認や執行部からの進捗報告が重要です。

浅井 朗太 議員

総務

35m級はしご付消防自動車を新たに購入

平成21年に配備された萩市消防署の35m級はしご付消防自動車がメーカーの使用期限である18年を経過し、故障時には修理不能となることから更新するものです。

問 既存の車両はどうなりますか。

答 官公庁のオークションで売却し、市の歳入になります。

問 車体や性能面での違いはありますか。

答 車体の大きさなどは変わりませんが、安全制御が電子化されて操作性が大幅に向上します。

問 納期が令和9年7月31日ですが、資材不足の状況で間に合いますか。

答 納期に間に合うように準備しています。



35m級はしご付消防自動車

教育 民生

税条例や印鑑条例の一部を改正

個人住民税における住宅ローン控除の延長や、固定資産税の免税点引上げを行う税条例の改正と、印鑑条例の改正の2件を審査するものです。

問 税制改正の周知はどうしますか。

答 確定申告等の機会を活用し、窓口等で丁寧にお伝えします。

問 印鑑条例の改正による、萩市内の対象者

は何人ですか。

答 マイナンバーカードを所持し、印鑑登録をしている外国人中長期在留者等86人が対象です。

経済 建設

同一所有者の土地の合筆に伴い字の区域を変更

令和6年度に実施した大井地域の地籍調査の成果に基づき、大井川河口の右岸付近および大井港周辺の2筆が変更となります。

問 合筆に至る原因は何ですか。

答 同じ所有者で同じ地目など、一定の条件はありますが、所有者の方が希望したり同意される場合は、合筆になります。

問 登記の費用はどうなりますか。

答 法務局に成果の写しを送り、それが登記に反映されるため、登記費用はかかりません。



森 田 哲 弘
(立志会)



議案審議における説明責任 と市政の透明性を問う

問 大型事業や市民生活に影響の大きい事業について、合意形成や説明責任をどのように果たしていますか。

また、議会からの質疑や指摘に対し、より丁寧な情報提供や説明責任をどのように果たしているかお尋ねします。

答 施策の提案に当たっては、説明を尽くしご理解いただけるよう努めています。

特に、市民生活に直接影響する重要施策は、全員協議会等において計画段階からお伝えしているところです。

審議では事業の必要性や効果、財政負担の見通しなど必要となる情報を提示するよう努めています。

議会運営と市政の 基本姿勢を問う

問 市長として議会との関係性をどのように構築し、市政運営を進めますか。また、多様な意見を踏まえた合意形成をどのように強化していきますか。

答 政策への理解を求める誠実な姿勢で市政に取り組むとともに、議会と執行部の建設的な議論を通じて最善の答えを導くことで、議会や多くの市民の皆様との合意形成につながると考えています。

今後とも、指摘や提言を真摯に受け止め、相互の信頼と協働に基づいた市政運営を基本として取り組んでいきます。



本会議場

〈その他の質問〉

・会派に対する評価・報道の在り方を問う

・中核病院形成計画中止に対する市の今後の対応は

表紙の紹介

『きよく・あかるく・ただしく』をモットーに、安心・安全な環境の中、子どもたち一人ひとりの個性に寄り添う保育を行っています。家庭的な温かさを大切に、笑顔あふれる毎日の中で、豊かな感性と生きる力を育んでいます。

日の丸保育園

3才児・4才児のみなさんが、ううぎ室で合掌しています。

2才児・5才児のみなさんが、タイヤ遊具に集合してポーズをとっています。



編集
後記

市議会議員改選後、新しいメンバーで議会だよりの作成を行いました。市民の方に手に取って読んでいただけるように、分かりやすい紙面作りを心がけて、広報委員一同、編集に取り組みます。1年間、宜しくお願い致します。

(石飛)



地域インフラ群再生戦略 マネジメントの導入・推進を

問 道路や施設等の老朽化、また、技術系職員不足の危機を打開するため、「自治体」「分野」ごとの維持管理業務から、「群」として捉えた、一括多機能型発注(群マネ)に変更することにより、住民サービスの向上など様々な効果があると考えますが、市の見解をお聞きます。

答 インフラの老朽化が急増し、維持管理対策が不可欠となるなか、これらを支える技術系職員の人員確保は、最重要課題の一つです。市民生活の基盤であるインフラを維持できるよう、技術系職員の確保に全力を尽くすとともに、業務の効率化を図るため、他市の事例も参考にしながら「群マネ」の導入について検討していきます。



松 浦 誠
(公明党)



漁港におけるマナー向上のための取組を

問 ゴミの散乱や、騒音問題など、漁港内でのマナーを守って頂くため、防犯カメラの設置やパトロールの強化、条例の改正などを実施する必要があると考えますが、市の見解をお聞きます。

答 一部の釣り人等によるマナー違反については市としても憂慮しており、苦情の実態を把握し、必要な対策を検討していきます。防犯カメラの設置や条例改正等は現段階で具体的な検討を行っていませんが、広報啓発を強化するとともに、悪質な事例には警察等と連携し、厳正に対処する体制の構築を検討していきます。



漁港の様子

萩保健医療圏の 今後の二次救急医療体制

問 命を守るための喫緊の課題として、萩市が一つになり、進めなければ解決しない課題です。2病院統合という道が停滞し、ますます困難を極める二次救急医療体制の構築に、どういう思いで取り組み、現場が抱える困難をどう分かち合い、どのように進めていくのか伺います。

医師不足や働き方改革により、対応できない分野や診療科があり、転院数が増えています。二次救急医療体制を守るために、市民と医療現場が希望を持てる、未来まで見据えたロードマップをお示しください。

答 市民の命と健康を最優先とし、私自身も医療従事者とともに現場にいる思いで医療問題に取り組んでいきます。これまで



安 井 順 子
(公明党)



の議論や現場の医師から伺い、再認識した課題(医師の高齢化、働き方改革、医療従事者不足、病院経営の悪化等)を組織として共有し、今後の取り組みに生かしていきます。持続可能な医療提供体制の構築に向けては、新たな地域医療構想を踏まえ、萩市医師会等の意見を伺いながら協議を進めていきます。当面の二次救急医療の提供体制については、急性期医療を担う都志見病院、萩むらた病院、萩市民病院の輪番3病院を中心とした連携等により、各病院の機能を発揮できるよう二次救急輪番調整会議等で協議し、市民の皆様が不安に思われることがないよう情報提供にも取り組みます。





山口 泉
(蒼成会)



観光産業の維持に必要な

宿泊客数は

問 年間宿泊者数の目標値を35万人とされていますが、観光産業の活力や賑わいを維持し、事業者の経営や雇用を支えるためには、どの程度の宿泊者数が必要と考えているのでしょうか。

答 宿泊者数35万人は、コロナ禍以降の宿泊定員の減少など実態を踏まえ、総合戦略の目標値を見直して設定したものです。

引き続き、平日・閑散期の誘客や滞在型観光を推進するとともに、観光関連事業者と連携し、まずは35万人の達成を目指します。

世界遺産・恵美須ヶ鼻造船所跡の整備はいつか

問 世界遺産は登録がゴールではなく、その価値が市民に共有され、来訪者に理解されること

で、後世へ継承されたいと考えます。

恵美須ヶ鼻造船所跡の修復・公開活用計画に位置付けられている展望デッキを含む見学路や公開活用施設は、いつまでに整備される予定でしょうか。

答 展望デッキを含む見学路等の整備は、発掘調査の長期化等により遅れています。国や県と協議を重ねてスケジュールの見直しを行い、整備に向けて検討していきます。まずは、来訪者へその価値を伝えるため、今年度、看板設置等により現地のご案内機能の向上に努めていきます。



世界遺産・恵美須ヶ鼻造船所跡の様子

＜その他の質問＞

・MICE（マイス）誘致で萩市への集客強化を提案



美原 喜大
(政風会)



今後の農政の方向性は

問 急速に人口が減少していますが、農業の現場では特に深刻です。農事組合法人設立の背景には人手不足の解消がありました。15年経った現在、人材不足の課題はよりいっそう強まっています。現在は70才代が主に担っていて、もう5年もすると法人が解散に追い込まれます。これを解消するためには、更なる区画の拡大、機械の大型化、スマート農業の取組、草刈作業の解消が求められます。その再基盤整備や大型機械化に対する助成が必要ですか。どうお考えですか。

答 地域農業を支える担い手の確保を最重要課題と位置づけ、法人内の世代交代や人材育成を促進していきます。

また、農業法人の継続には、農地の大区画化やスマート農業技術を活用した省力化が重要であると考えています。更には従来の規模拡大の支援に加え、経営の継続を目的とした支援も必要なことから、今年度より市単独の機械導入支援に法人も対象としたほか、新規就農者を受け入れる法人の機械・施設整備には市が独自に上乗せ支援を行います。草刈り作業の負担軽減については、防草シート設置の補助基準の見直しを研究するとともに、ラジコン草刈機等の導入を推進し、農地管理の省力化を引き続き進めていきます。



ドローンでの散布作業状況

＜その他の質問＞

・市道・市営住宅の管理は
・議員要望の取り扱い
・訴訟行為委任事業についての現状は

全ての市民が望む萩保健医療
圏内の二次救急拠点病院を

問 2病院統合を一旦断念する
ことになりましたが、市民・医
療提供者とも、二次救急の拠点
病院の確保を望んでいます。

統合による地域医療再編の代
替案の有無を含め、具体的に今
後まず何を行いますか。

また、萩保健医療圏内での確
保を市民は望んでいます。市
長はどう考えていますか。

答 救急医療体制については、
輪番病院や萩市医師会の意見を
伺い、現場の実態を反映させた
取組を行います。

今後は新たな地域医療構想を
踏まえ、萩保健医療圏の実情に
合った持続可能な地域医療提供
体制の協議を進めていきます。



浅井 朗 太
(立志会)

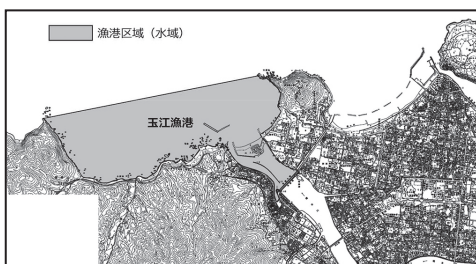


西ノ浜コンクリート護岸建設
は見直しを

問 西ノ浜にコンクリート護岸
を建設することを市民の多くは
知りません。地元だけでなく広
く説明会を行いますか。西ノ浜
は玉江漁港の区域内とのこと
です。玉江漁港の範囲をお示し
ください。

答 現時点において、広く市民
を対象とした説明会を開催する
予定はありません。

玉江漁港の範囲は、陸地側は
常盤橋まで、海側は西は青長谷
北側の赤
鼻と、東
は指月山
北側の大
瀬鼻を結
んだ海域
で囲まれ
たエリア
となつて
います。



玉江漁港 漁港区域

〈その他の質問〉

- 大規模な市の施設の総合的な整備計
画について
- 部活動地域移行について

物価高騰および資材不足へ
の速やかな支援や対応を

問 市内経済への物価高騰や資
材不足による影響は深刻です。
実態調査と迅速な支援策の検討、
資材不足による雇用や営業活動
に影響が出ないように取り組ま
ませんか。

日々状況が変化するなかで、
萩市の発注や契約でもスライド
条項の適用や適切な価格転嫁を
できるよう、どう取り組んでい
きますか。

また、物価高騰対策で実施し
た商品券発行事業は、意思決定
から実施まで時間と労務等が発
生しました。地域のデジタル化
を誰一人取り残さず推進するた
め役割分担をしつつ、前橋市な
どの事例を参考に組みませ
んか。

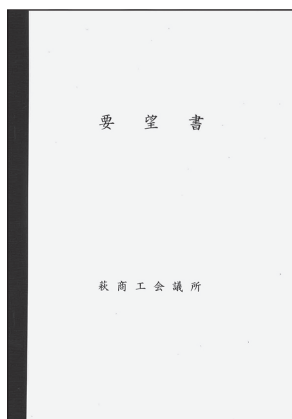


小 林 富
(蒼成会)



答 市内事業者の収益圧迫や資
金繰りへの影響が懸念される中、
国の重点支援地方交付金を活用
した支援策を講じるなど、今後
も影響を丁寧把握し、地域経
済の維持・活性化に努めていき
ます。建設工事等におけるスラ
イド条項等の適用についても、
受注者からの契約変更の申出や
相談に随時対応し、適切な運用
に努めていきます。

デジタル給付等のDX推進に
ついては、誰一人取り残さない
視点が重要であると考えており、
他自治体の事例や費用対効果な
どを十分に踏まえ、サポート体
制のあり方も含めて庁内横断的
に研究を進めていきます。



萩商工会議所から市長宛に出された要望書

〈その他の質問〉

- 萩市の目指す教育環境と人材育成は
■観光の既存施策検証と新規事業は



岡崎 隆志
(立志会)



周辺地域の衰退を食い止めるためのビジョンは

問 萩市は今後、人口減少に伴う衰退を前提とした地域づくりを進めるのか、それとも地域活力の維持・発展を目指すのか、市長の基本的な考え方をお聞かせください。

また、今までやってきたことの延長線上でこれからもやっていては、衰退は止められません。年齢構成から人口減少を止めることはできませんが、地域や地区ごとにその利点を最大化するための取組をすれば、一定程度、地域の衰退に歯止めをかけることはできると考えます。地域の今後のあり方の検討を早急に着手しませんか。

答 周辺地域の振興は最重要課題の一つであり、住民との「対話」による意見を計画や対応へ



ささラブ応援隊の取組

反映しています。また、いた

いた意見を生かすため、総合事務所の運営体制や予算要求の仕組みを見直すとともに、人的支援や交付金等により地域の主体的な活動を支援しています。住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、高齢者の支えあい活動や移動・買い物支援、補聴器購入費助成の新設、空き家改修等の移住定住促進、地域おこし協力隊等の人材確保、交流人口の拡大に取り組み、「住んで良しのまちづくり」を推進します。

また、「人口減少に伴う衰退を前提とした地域づくりを進めるのか、それとも地域活力の維持発展を目指すのか」については、両方とも重要であるものと認識しています。



西中 忍
(立志会)



萩市の地域医療はどうなるのか

問 田中市長が行ったゼロベース検討以降、全く進まなくなつた中核病院形成計画ですが、相手方医療法人が、協議から離脱を表明するという最悪の結果になりました。

そこで、この最悪の結果になつた原因を作つた田中市長は、自身の責任を含め、今回の結果についてどのように分析し、救急を含めた地域医療を今後どうしていこうと考えているかお尋ねします。あわせて、二次救急医療に関する関係議員、瀧口議員、美原議員、森田宗和議員などの主張に対し、どのような見解を持っているかお尋ねします。

答 中核病院形成が実現できず、市民の皆様深くお詫び申し上げます。市民の生命と健康を最

優先に取り組み、地域医療提供体制を確保していくことが市の責務です。地域医療を維持するためには輪番3病院の連携・補完体制の確保に加え、圏域内の医療機関の役割分担と医療資源の集約が不可欠です。医師会等の意見を伺いながら、実情に合った体制について協議を行っていきます。また、長年、在宅当番医制を維持していただいている医師会の皆様には心より感謝申し上げます。萩保健医療圏の医師等の医療従事者の高齢化や



萩市民病院

不足の課題への対応を含め、今後の救急体制をどのように確保するか検討していきます。

〈その他の質問〉

- 新たな移動手段の確保に取り組んでみないか
- 急速に進む少子化の原因分析と対策は

不登校児童生徒への多面的な支援と保護者の伴走型ケア

問 不登校児と孤独に悩む保護者への伴走型ケアや、SNS匿名相談窓口などの環境整備について伺います。また、中山間地域の格差解消に向け、休校中の弥富小学校を支援拠点として有効活用することはできますか。

答 誰一人取り残されない学びの保障の実現に向け、多様な学習機会の確保と保護者への伴走型ケアの体制づくりを推進していきます。SNS等を活用した相談窓口の開設は、安心して相談できる環境づくりの一環として検討していきます。

休校中の弥富小学校の活用は、既存分室の運用状況や各地域のニーズを見極め、研究していきたいと考えています。



下田 洋香
(萌和会)
ほうわ



全域の資源を生かす文化観光の推進と地域回遊

問 国から採択された大規模計画の進捗と、この計画を契機に、川島地区など周辺文化財への回遊性を高める具体策はありますか。また、計画対象外の広域地域の豊かな資源を今後どのように位置づけ、盛り上げていくのか伺います。

答 国の認定を受けた「萩まじゅう博物館を基盤とした文化観光推進地域計画」に基づく各種事業を、4年間にわたり実施します。本事業では、周辺文化財への周遊性を高めるため、サイン整備などに加え、現地で必要な情報提供を行うデジタルサービスも予定しています。引き続き、萩まじゅう博物館の各種取組を萩市全域で展開していきます。



地域回遊の向上が期待される川島地区

時代に沿った景観条例の見直しを

問 現行の景観条例は改定から10年近く経ちますが、地域経済の活性化の観点から見直す考えはありますか。

答 萩市は平成19年に萩市景観計画を、平成20年には萩市屋外広告物等に関する条例を定め、良好な景観形成への取り組みを進めてきました。平成31年には、景観を守るべき区域と賑わいを創出する区域のメリハリをつけるため、市民の皆様や関係業界団体等のご意見を伺い、景観等の基準の大幅な見直しを行ったところです。

このため、基準の大きな見直しは必要ないと考えていますが、どのような対応が必要か研究していきます。



榎谷 紘司
(蒼成会)



体験格差の是正に向けた取組ができないか

問 子どもの体験格差が全国的な問題になっています。県では県立施設の入館料補助が行われていますが、萩市でも歴史や文化に触れる機会を増やすために施設入館料等の金銭的な補助ができませんか。

答 公共施設の入館料は、利用されない方との公平性を確保する観点から原則有料としており、維持管理費が高騰する中での貴重な財源と考えています。萩市では、保育料や給食費の無償化など広く効果が行き渡る経済的支援を行っていますが、ご提案

の施設の入館料軽減や子ども体験パスポート制度等につきましても今後研究していきます。



萩博物館

＜その他の質問＞
■ 混雑地の駐車場の確保や整備ができないか



水津 真澄
(萌和会)



萩産オーガニック食材の給食活用と持続可能な食の循環を

問 本市の給食は高い地産地消率を誇りますが、地元産野菜の価格高騰や生産者減少により萩産の利用率が低下しています。そこで萩産食材の利用率を回復させる改善策や、食料自給率向上に向けた農家の継続支援、補助金を活用した地域内経済循環の仕組みづくりについてお尋ねします。

より、地場産食材の利用拡大に努めていきます。また、地域内経済循環の新たな仕組みの構築に向け、関係部局と横断的に連携して研究を重ねていきます。オーガニック給食は、価格や安定供給など様々な課題がありますが、優れた食育効果や移住促進への有意義な視点と認識しています。

まずは、有機農業推進計画に沿って、セミナー等による理解醸成を図るとともに、生産者の裾野拡大に取り組めます。現在取り組んでいる、全校への「エコ50米」の提供などを充実させながら、萩市の実情に合った実現可能な形を関係者間で十分議論を重ね、研究していきます。

また、一時的な対策に留まらない給食単価の見直しや、子どもたちの心と体を守り移住促進にも繋がる「オーガニック食材を優先的に給食へ導入する仕組み構築」に力を入れませんか。

答 萩産食材の給食利用率の改善策として、JA等関係機関との連携や学校給食食材産地情報交換会における需給調整強化に



給食の様子



村谷 幸治
(蒼成会)



教員の働き方改革の現状は

問 県では、小中学校での教員の不足が発表されましたが、萩市ではどうですか。教員の働き方改革として「月45時間以内の時間外業務に抑えること」とありますが、萩市の実態はどうですか。また、その原因は何で、どうやって改善していきますか。次に「心の病」が原因で休職された教員はいますか。

つも、県教育委員会と連携して人材確保に努めています。時間外勤務が月45時間を超える教職員の割合は令和7年度で小学校27・3%、中学校34・2%と減少傾向で、各学校の業務改善や支援員配置などによる成果であると考えています。教職員が心身ともに健康で質の高い教育活動を行える職場環境づくりを、引き続き進めていきます。

休職要因は多様で、令和7年度の精神・神経系疾患による休職者は4名でした。復職に向けては学校長の声かけや段階的勤務など丁寧な支援を行い、再発防止にも努めています。

また、産休や育休、病欠などでの「欠勤による追加業務」にストレスを感じている教員はいますか。そういったメンタル不調による教員に対する支援はしっかりされていますか。

答 令和8年度始業日時点で小中学校とも欠員はなく、産前産後休暇や育休、病休が重なる際には代替教員の確保に苦慮しつ



〈その他の質問〉

- 萩市の人口減少について
- ごみ袋の供給について

救保健医療圏の医療提供体制

問 医師会が懸念する救急の

「リレー搬送」によるタイムロスの現状を、市長は当事者としてどう受け止め、どう改善しますか。また、統合協議の停滞を受け、知事や医療機関から求められている「2040年を見据えた地域医療ビジョン」や「新たな形成スキーム」の策定に市はどう取り組みますか。併せて、喫緊の課題である二次救急医療体制のひっ迫に対し、具体的にどう対応されますか。

答 二次救急においては、救急患者を受け入れた病院において、専門医のいる他の病院での治療が患者のためになると判断した場合に転院搬送を行うこととなります。これは、患者の生命を守るために行うものであること

をご理解いただきたいと思います。しかしながら、専門医不足による転院搬送が行われていることを良しとしているわけでは

ありません。以前に比べ、二次救急を担う病院の常勤医が減少していることから、二次救急の現場に相当な負担をかけている現状には、大いに危機感を持っているところ です。

今後は、2040年を見据えた新たな地域医療構想を踏まえ、持続可能な救急医療体制の構築に取り組んでいきます。あわせて、喫緊の課題である救急医療提供体制の維持に向けては、二次救急輪番病院や萩市医師会の意見をしっかりと伺い、現場の実態を反映させた議論を行っていきたくと考えています。



福 場 正
(無所属)



救急車

「中核病院形成」一旦破綻後の二次救急医療の維持は

問 萩地域の医療体制、特に二次救急の確保は市民の命を守るための最重要課題です。

都志見病院との連携は非常に大切となってきましたが、どのような連携体制をとっていきますか。

答 萩市民病院と都志見病院は、従来より様々な分野で連携しています。

近年はそれぞれの病院の医師が相互に勤務する兼業体制や、専門領域における医師同士の相談体制の強化にも取り組んでいます。限られた医療人材の中で二次救急医療提供体制の維持に向け、引き続き市内医療機関や山口大学、県との連携強化を図っていきます。



森 田 宗 和
(政風会)



観光地「萩」の発展のための宿泊税導入を

問 宿泊税は、文化財修復、世界遺産の価値、発信等、将来に渡って持続可能な「萩」として発展していくことが目標です。

またクーポン等、閑散期の宿泊者増も期待できます。例えば、旅館組合等と協議をし実現しませんか。

答 宿泊税の導入については、宿泊事業者の理解や協力が前提となるほか、仕組みづくりや宿泊事業者の事務負担、宿泊需要への影響など多くの課題があり、慎重に対応すべきと考えています。現時点では具体的な検討を開始する段階には至っており、財源確保に向けて、まずは施設利用料金のあり方など

既存制度の見直し等に取り組んでいきます。



金谷神社（景観重要建造物）

〈その他の質問〉
・消滅可能性都市「萩市」からの脱却に向けた人口減少対策について

市政を問う

16人の議員が質問

6月定例会一般質問

「一般質問」とは、市政全般の執行状況や施策などについて、執行機関に対してその考え方や方向性を問いただし、報告や説明を求めたりするものです。



秋市議会
YouTube

QRコードから各議員の一般質問の動画を見ることができます。

◆石飛 孝道 …… P12下

- 市民の暮らしと命を守る、二次救急医療体制の確保は
- 後小畑地区の三差路に信号機設置を 他

◆福場 正 …… P11上

- 萩保健医療圏の医療提供体制

◆森田 宗和 …… P11下

- 「中核病院形成」一旦破綻後の二次救急医療の維持は
- 観光地「萩」の発展のための宿泊税導入を 他

◆水津 真澄 …… P10上

- 萩産オーガニック食材の給食活用と持続可能な食の循環を

◆村谷 幸治 …… P10下

- 教員の働き方改革の現状は 他

◆下田 洋香 …… P9上

- 不登校児童生徒への多面的な支援と保護者の伴走型ケア
- 全域の資源を生かす文化観光の推進と地域回遊

◆榎谷 紘司 …… P9下

- 時代に沿った景観条例の見直しを
- 体験格差の是正に向けた取組ができないか 他

◆岡崎 隆志 …… P8上

- 周辺地域の衰退を食い止めるためのビジョンは

◆西中 忍 …… P8下

- 萩市の地域医療はどうなるのか 他

◆浅井 朗太 …… P7上

- 全ての市民が望む萩保健医療圏内の二次救急拠点病院を
- 西ノ浜コンクリート護岸建設は見直しを 他

◆小林 富 …… P7下

- 物価高騰および資材不足への速やかな支援や対応を 他



◆山口 泉 …… P6上

- 観光産業の維持に必要な宿泊客数は
- 世界遺産・恵美須ヶ鼻造船所跡の整備はいつか 他

◆美原 喜大 …… P6下

- 今後の農政の方向性は 他

◆松浦 誠 …… P5上

- 地域インフラ群再生戦略マネジメントの導入・推進を
- 漁港におけるマナー向上のための取組を

◆安井 順子 …… P5下

- 萩保健医療圏の今後の二次救急医療体制

◆森田 哲弘 …… P4上

- 議案審議における説明責任と市政の透明性を問う
- 議会運営と市政の基本姿勢を問う 他



問 後小畑地区を通る国道191号は、交通量が年々増えています。市道と交わるこの三差路は、

後小畑地区の三差路に信号機設置を

〔答〕 医療体制の維持には萩市民病院と都志見病院の連携が不可欠であり、今後も持続可能な連携体制の構築に向け協議を重ねていきます。また、新たな地域医療構想を踏まえ、萩市医師会等の関係機関と持続可能な体制構築に取り組んでいきます。

問 萩医療圏の医療体制を守るためには、他市の医療圏の救急指定病院に頼らず、本市において、二次救急医療体制を再構築することが、市民の命を守ることに繋がると思いますが、市の見解を尋ねます。

市民の暮らしと命を守る二次救急医療体制の確保は



石 飛 孝 道
(立志会)



越ヶ浜小中学校の通学路です。また、支援学校のスクールバスも通っています。安全確保と渋滞回避を考慮し三差路に信号機の設置を考えられないか、市の見解を尋ねます。

〔答〕 萩警察署へ信号機の設置については情報を提供し、県公安委員会にて判断されると回答をいただいています。市では安全確保のため、令和8年度に電柱の移設や停止線の引き直し工事を実施するとともに、引き続き、交通状況を注視していきます。



後小畑の三差路

〈その他の質問〉

- 玉江漁港海岸保全（西ノ浜）浸食の主な要因は
- 元越ヶ浜市営駐車場の公衆トイレを和式から洋式に一つだけでも変えられないでしょうか

議員の紹介

 榎谷 紘司 (1期：蒼成会) 皆様の声を市政に届け、住み良い街づくりに取り組みます。	 烏田 栄二 (1期：無所属) おもしろきこともなき世をおもしろく、すみなすものは心なりけり。	 下田 洋香 (1期：萌和会) 「小さな声を大きな力に！」言葉の力で萩を動かすべく邁進します。	 水津 真澄 (1期：萌和会) 市民の声を聴き、女性・母親の目線で真心を尽くします。	 福場 正 (1期：無所属) 初心を忘れず、市民の皆様の未来のため勇往邁進してまいります。
 安井 順子 (1期：公明党) 皆さまに寄り添い、一人の声を大切にしています。	 山口 泉 (1期：蒼成会) 新人ですが是々非々の意見で貢献できるように頑張ります。	 浅井 朗太 (3期：立志会) 人口3万人時代だからこそやることがある。公平無私。みなさまの市政を。	 岡崎 隆志 (3期：立志会) 初志貫徹！過疎地域の衰退を食い止め、萩市再生に尽力します。	 小林 富 (3期：蒼成会) さまざまな世代や地域の課題に向き合い、次代の萩市に向けて頑張ります！
 松浦 誠 (3期：公明党) 「大衆とともに」を根本に、大切な市民の皆様の声を届けて参ります。	 村谷 幸治 (3期：蒼成会) 聞いて、見て、すぐに実行する「現場第一主義！」で頑張ります。	 森田 宗和 (3期：政風会) 『知行合一』しっかりと行動で示せるよう働いてまいります。	 石飛 孝道 (4期：立志会) 安心して暮らせる地域づくりに、全力で取り組んでまいります。	 美原 喜大 (4期：政風会) 出身地は下小川。議員歴は4期目で、行政に38年勤めていました。
 森田 哲弘 (4期：立志会) 市民の声を市政に届け皆様と一緒に「ええまち萩」を目指します。	 西中 忍 (5期：立志会) 救急医療や地域医療を維持し、市民の安心を守るため全力で働きます。	 長岡肇太郎 (6期：萌和会) 協同・融和・協働、継続し経験を活かし、取り組んでまいります。	 瀧口 治昭 (3期：蒼成会) より意見が交わせる議会と、市民が住みやすい萩市を目指します。	 関 伸久 (5期：政風会) 萩市は課題先進地。解決にむけ、しっかり議論を興します。

議長あいさつ



議長

関 伸 久

本年五月の臨時会で議長に就任致しました。私は、議長選にあたり、議員定数と議員報酬のあり方について、早期に議論の受け皿を設置することを表明致しました。前回の議員定数等については、平成二十六年（二〇一四年）六月から約一年をかけて議会で議論をしております。

その時から既に十年以上経過し、次の改選となる令和十二年（二〇三〇年）にむけて、早期の議論が必要と考えています。

議論を尽くすことが萩市議会の使命と考え、今後、合意形成に努めて参ります。

これからの萩市議会にご期待ください。



副議長 瀧口 治昭



監査委員 長岡肇太郎

委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

5月13日の臨時会で委員会の構成が決まりました。
総務・教育民生・経済建設・議会運営委員会の任期は、
条例により2年、予算決算・広報委員会は1年です。

総務委員会

◎村谷 幸治 石飛 孝道 長岡肇太郎
○森田 宗和 小林 富 森田 哲弘

予算決算委員会

◎森田 宗和 榎谷 紘司 美原 喜大
○山口 泉 岡崎 隆志 森田 哲弘
浅井 朗太 長岡肇太郎 安井 順子

教育民生委員会

◎西中 忍 下田 洋香 美原 喜大
○安井 順子 瀧口 治昭
浅井 朗太 福場 正

広報委員会

◎石飛 孝道 下田 洋香 福場 正
○烏田 栄二 水津 真澄 松浦 誠
小林 富 西中 忍 村谷 幸治

経済建設委員会

◎松浦 誠 烏田 栄二 山口 泉
○榎谷 紘司 水津 真澄
岡崎 隆志 関 伸久

議会運営委員会

◎小林 富 長岡肇太郎 山口 泉
○美原 喜大 森田 哲弘
浅井 朗太 森田 宗和

萩市議会だより

vol.81 2026



6月定例会トピックスはこちら